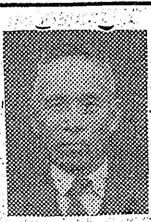
夕刊
いわき民報
発行所
平市田町 電176 381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

阿部前助役逮捕
土木疑獄に關連偽証罪と背任も濃厚

九日午後一時から福島地裁に開廷された土木疑獄事件の公判で、証人として出廷した平市旧城跡七、平市前助役阿部治英氏（六三）は偽証罪の現行犯として福島地裁の法廷内で佐久間検事に逮捕され、身柄を福島刑務所に収容された、証言の内容に依つて背任罪も濃厚となつた模様である、なお偽証罪の現行犯として法廷から逮捕された事件は全国的にも例を見ないようである


阿部前助役

上村所長を通して田坂課長に贈つた

偽証罪に問われた直接原因は、土木疑獄の張本人と見られる県道路課田坂栄美（四三）に係る背任横領事件に関連し、阿部前助役は平市が支出した三十万円を『当初道路協会に寄附した』と証言しながら九日の公判では

本年春の市会で四十万円の予算を満場一致で可決し、このうち三十万円を上村前平土木監督所長を通じ田坂課長に渡して貰つた、更に検事は『その三十万円は道路協会に寄附するものと思つて渡したか』との質問に対し

『名目は寄附という事にしたが要するに平市は仕事をしてもらえばよいのだから田坂個人が飲食に使われようが俺の知つたことでない』と前回の供述を翻えた為偽証罪に問われたものである

阿部前助役の証言に依ると昨年六月上旬頃、上村前平土木監督所長と田坂課長が市役所を訪問『六、七丁目の国道舗装の事に関し、三十万円を日本道路協会に寄附すれば、地元の負担金無しで舗装工事をしてみせる』と約束され四十万円の予算を計上したものと云われるが、この四十万円の予算は昨年二月の予算市会で二十五年度の当初予算に国道補修費として計上、同年七月五日『日本道路協会へ二十万円、その他日本舗道会社（舗装工事人）に十万円』として一括し当時の上村平土木監督所長に手渡し、収入役の預つた領収書は上村所長の名儀である、その後予算の費目がまずいと今年一月の市会で『負担金補助金及交附金』と費目だけ移動させている

阿部前助役の証言通り上村所長を通じ田坂道路課長個人に二十万円贈つたとすれば市会の議決を無視して居り、背任罪と贈賄が成立することにもなり、公判の経過は注されている

市會解散も辭せず
市政會が諸橋市長を激勵

平市政会では消防団長問題にタツチすることを避けていたが、強口氏等八議員が諸橋市長に対し『松本団長任命を追つて不信任案を提出する』とまで言明するに至つた為、放置する訳に行かず九日夜ブラジルに会合協議の結果

万一強口議員等が諸橋市長の不信任案を提出された場合、市会解散も辞せず、諸橋市長に対し『飽まで初信を曲げず、厳正公平な判断のもとに適格なる団長を任命するよう』要望することに決定

十日朝代表者が諸橋市長を訪問して市政会の態度を伝達、激励するところあつた

教育研究會
あす小名濱で

教組第二支会（湯本地区）小学校長会主催特別教育活動研究協議会は十一日午前九時から小名浜一小に開く、同校特別活動実地参観の後その在り方及び振興策に就き協議する

事務競技會開催の結果

県下農協組事務競技会石城郡予選は九日午前十時から平市石城農業会館会議室に参加者十五名で行われた、成績次の通り

▽珠算【見取算】1、田久徳一（赤井）2、坂本久代（夏井）3、若松茂平（大浦）【乗算】1、田久徳一（赤井）2、坂本久代（夏井）3草野文夫（泉）【伝票算】1、坂本久代（夏井）2玉村磐（泉）3、脊山日イ子（錦）【除算】1田久徳一（赤井）2、玉村磐（泉）3、鈴木賢一（高久）

▽簿記試算表作成競技

1、伊藤速雄（小名浜）2、坂本久代（夏井）3、金成タイ子（大野）【仕訳】1、鵜沼源吾（夏井）2、鈴木賢一（高久）3、草野文夫（泉）【勘定修正】1、鈴木賢一（高久）2、草野文夫（泉）3、若松茂平（大浦）

来る二十九日の白河市で開かれる県大会の郡代表は【珠算】田久徳一　坂本久代　玉村磐【簿記】鈴木賢一　草野文夫　伊藤速雄の六名

あなた[illegible]知りたいことがのつている新聞
明瞭な印刷、見やすい活字きれいな写真の三拍子のそろう
いわき民報
お申込は直接本社へ!! 電1222

實施すればすぐ適用
裁判所侮辱法に關し座談會

平事件公判傍聴のため来平した衆議院法務委員山口、猪俣両代議士並に同院小木専門委員らを囲んで立法化されつつある裁判所侮辱制裁法に関する座談会が八日午後地裁平支部会議室に開かれ裁判、検察警察関係や東京弁護士会、平弁護士会の会員並に炭鉱労働組合等からも多数出席した、この法案は第十、十一国会に提出され継続審議案として審議中のもので次期国会に立法化されるのは必至とみられているがこの法案の対象は

最小限度にして直接裁判所、裁判官が法廷内、外で事件の審判手続中の面前または知ることの出きる範囲内で妨害の行為または裁判所、裁判官の威信に関する行為があつた場合に適用され

百日間の留置または五万円以下の過料に処せられる秩序罰である

この内容を中心に種々論議されたが福島地裁島村所長は『この法律が立法化されても実際に適用される場合は僅少であろうが法廷の秩序または威信のためにも必要である』と述べれば地検平支部高橋上席検事は『現在の裁判所法案の一部を改正しただけで別に立法化しなくてもよいと思う、なぜなら立法化されたとしても[illegible]らの性質によつてその目的が阻止されるからであるその法律が才判官の主観だけで侮辱されたと判定して適用すると被告らに常に威圧を加える結果になると思う』と立法化不必要を論じ東京弁護士会守屋弁護士が『今日の平事件公判を傍聴して侮辱制裁法の必要であることを感じまたこの法があつたら相当に適用されるべき被告らが居る』と意見を述べ終始論議が交わされたが平事件公判を通して『このような特殊公判にはぜひ必要な法律である』との結論となつた

日曹赤井で團交へ
ゼネスト継續のまゝ

七月以降賃金値上げをめぐつて赤井村日曹赤井炭鉱労組（四百五十名）は七日一番方から無期ストに突入したが、十日午前九時、会社側では団交をもちたい旨申入れを行つたので、労組ではスト継続のまゝこの団交に応じた、なお山元には出畑日鉱会長、菊川総同盟主事らが応援指導を行つている

労組の要求額は坑内夫四九五五円坑外夫三二五五円（共に税込み）で会社側の最後案は坑内四六〇〇円坑外二八〇〇円で決裂したもの

四日間のスト減産は約七百トン

植田委員長會議

植田町では九日町議各員長会議を開き磐高道路開さくに関し協議の上現場を調査したが、十日吉田助役及び小宅議員は平保線区に架橋工事に関し種々陳情した

磐高校復興へ
募金音樂會を開く
來る十四日晝夜二回

磐高復興の一助として市内三高校（平工、平商、磐女）では平工商を主体として復興募金音楽会を来る十四日平市公会堂で開くことになつた、午後一時と六時の二回で入場無料だが、入口に募金箱を設けて応分の寄附を受けることになつている

四倉高校では七日運動会に際し磐高罹災義損金募金を行つたところ六百七十八円が集まつたので磐高宛寄附した

山崎青田兩氏
副會長に選任

磐高復興期成同盟会の副会長に山崎忠兵衛、青田三郎の両氏が九日選任された

十萬圓據出
内郷町で

内郷町教育委員会は九日磐高復興資金に就き協議した結果、十万円に決定したので十一日午前九時からの臨時町会に附議決定する

一萬圓寄附

内郷町綴学町の内一六日野定利氏（四三）は八日一万円を磐高復興資金として寄附した

仲好會でも

内郷町駅前仲好会では七日秋季R C大会を行つたが経費を節約し九日役場を訪れ磐高資金として五百円寄附した

電力危機突破へ
炭鑛關係者も參加
十五日横の連絡會議

電力事情の悪化を緩和して欲しいと先に平市商工会議所では公益事業委員会に陳情書を提出、危機突破対策運動のひぶたを切つたが、この程、この運動を常磐地区の全産業に呼びかけ特に炭鉱を多くかゝえ増炭の緊急期にあるので炭鉱の代表者も集め横の連絡を緊密にし統一ある強力な運動を展開することになり、十五日午後一時から平市役所二階委員会室に東部石炭協会と共催による電力危機対策運動連絡会議を開催することになつた

老魚屋殴られて悶死
陰に悪事か、容疑者逃亡

殺された渡辺魚屋

十日午前九時半平市五丁目二一元魚商渡辺留五郎（六〇）が悶死した事件があり平市署で容疑者平市大町無職池浦清（三七）及び同人と行動を共にしていた平市鍛冶町無職遠藤徹（三七）を参考人として行方を追つている、近所の人達や池浦の義兄行商金成秋雅さん（四三）＝渡辺宅の裏手＝の話によると被害者渡辺は四日午後四時から六時ころまで金成方で金へん泥を一緒にしないかと繰り返しくどいたのをたまたま詐欺容疑で指名手配中の池浦が金成宅の押入れに隠れて寝ていてこれを聞き憤慨、去る六日夜十時半ころ酒の勢いで仲間の市内鍛冶町無職遠藤徹（三七）と一緒に渡辺宅に押し掛け池浦は渡辺を約二時間に亘りバンド、手拳などで袋だたきにし全身打撲傷を負わせたもので金成は止めに入つたが、どうにも手がつけられなかつた、と語つている、木村（厚）石坂の両医師が九日迄診察した結果気が狂つている様だとの話で九日調査に赴いた平市青沼社会福祉主事は

顔などは全くふくれ上つていたずい分無茶苦茶に殴つた様だと驚いている、容疑者池浦は九日朝金成方を飛び出しまた遠藤は東京へ行くと云つて出たまゝ行方がわからない、死んだ渡辺には一人娘マサ子（二〇）が居るが現在仙台感化院に収容されて居り近所のうわさでは娘を手先に泥棒商売をしていたらしく娘が居なくなり困つていたものと見られている、金成は『私がさわぎを聞いて三十分後に駆けつけたときは全く手がつけられなかつた』と池浦をかくまつて居たこともあるので口を閉じて多くを語らない、尚死体は十日午後一時半から平市十五丁目竹林医師が解剖した

容疑者池浦清

資産價格の台帳縦覧
十一日から

平市税務課では十一日から二十日まで土地建物償却資産の価格を登録した台帳を縦覧させる、場所は同課、並に各支所、もし価格の決定が不当だつた場合は固定資産評価審査委員会に再審査の請求が出来る

天気予報
十日

【今晩】北西の風よい天気明方はカナリ冷え込む【明日】朝の中北西の風日中南東の風よい天気午後は薄雲多くなる、海上は穏な方ですが沖合多少ウネリ高くなる

父新妻幸之助儀病気療養中の処病改まり薬石効なく十月九日午前十一時五十五分急逝致しましたにつき生前賜わりました御厚意に対し心から深謝申上げます

なお葬儀は十月十一日午後三時自宅出棺平市営火葬場に於て火葬の上追つて久ノ浜町龍光寺墓地に埋骨致します

昭和二十六年十月十日
平市田町
喪主 新妻幸男
親戚総代 新妻喜太郎
友人総代 井上貞治郎

貸店舗
平市内目貫通り電話付
姓名在社（41）

江戸前壽司
割烹 小料理
和洋食 そば
明るく衛生的で手軽く安い
『奈加や』の味覚をゼヒ御試食下さい
御会合、商談、社交お家族連れ、御散策のお帰りに御立寄り下さい
出前は多少に拘らず迅速お届け致します
奈加や
平市才槌小路 電395

街の話題

母『あなた、子供たちの足袋もそろ〳〵用意しなくては…』
父『うん…今年は相当高いだろうネ』
子『ウウン、高かないヨ、大黒屋では安く買えるらしいよ…』

寒さに備えて
學童服特賣中
毎日入荷しております是非御来店下さい
皆様の御希望により
土、日特賣致します
鈴藤
平四 電93番

趣味乃和菓子
美術京風干菓子
御進物用 抹茶菓子に好適
田町 みよし
電六九八

使つて始めて知つた質の良さ
ロリガンポマード
代理店 平市一丁目平野屋商店
東京 中野 ロリガン本館

淀君と私の愛妻

バンマロ

常識もなく、教育はあっても教養の乏しい女に限って、亭主とお客の対談の中に割り込み知ったかぶりのウスッペラな目論を振りまわす所謂出しゃばり女が多い。来客の迷惑など一向にお構えなく、亭主を尻目にペラ〳〵と有りもしないがい博な知識を無理に見せびらかそうとする滑稽を、自ら悟らぬ婦人ほど厄介なものはない。教育のあるなしは別として、環境と性格がもたらす気の毒な存在であるが、斯うした女を妻にもった亭主こそは、いゝ災難であり、誠にお可哀相なものである。

○私の大先輩で今は故人となられた政治家の女房がその典型であった。自我が強く、無知で非常識で、虚栄心が強かった。当時この女を知る人々は、『淀君』を冠し、出前持の子僧達にまで軽べつされていた。それでも当の本人は、得意を胸にふくらませながら、依然として自己の偉ぶる無智を来客の前に繰りひろげての独りよがりには、何人もあきれ果て、遂に誰れ言うとなし『淀君』のニックネームを与えたと云う、ニュースは、当時福島政界の一トピックであった。

○如何に民主々義が戦前の思想を引つ掻きまわす、男女同権が戦後の線上に大手を振りまわす世の中に変ったとは云え、そこには自すと限度がある。限度を越すとそこにはいわゆる戦後派が待ち構えている。『淀君』がそれだ。

○当年五十三才になる私の愛妻は、斯うした典型を現実に見且つ耳にしているので、『人の振り』を『我が振り』におき代え常に『女』としての反省に人一倍の苦労を重ねている謂わば時代おくれの古い女であるだけに、常盤毎日紙上に於ける強口翁の、あの破目をはずした悪体に気の弱い愛妻は余ほど度きもをぬかれたらしい。

○三十年の交流を断ち切ると強口翁の私への布告は敢えて辞するものではない。『九郎兵エの事ならん』の尊称も甘受するが、罪もない愛妻にまで八つ当りする翁の血迷い方は将に正気の沙汰ではない。そろ〳〵と焼きが…言いたい位だ。

○だが、蚤のキンタマほども無い小さなきもつ玉の愛妻は、『淀君』のショックで熱を出し怒りを忘れて今は氷の厄介である。罪なことをしたものだ。

○団長問題で火ボシが私の方に向って来たが、不燃質の私には痛痒は感じない、相手にとって不足だからと云う意味では無い、諸橋市長の手腕に大きな期待がもてるからである。

○だが、老い先きの余り長くもないお互いが、何にを苦しんで三十年の親交を足蹴にし、冥土にまで『喧嘩』を持ち込まねばならぬ気持ちが、おれにはどうしても呑み込めぬ。

（十月九日）

市署占拠の状況

きのうの公判 起訴状を朗讀

九日開かれた平事件公判午後は一時再開、午前中に引続いて小林好幸被告から個人別起訴状の朗読が行われた、朗読は一気に進んで二時半終了した、首魁で起訴されている四十七番の村上俊夫（三〇）被告については

掲示板問題に関して日共党員、朝連、労働組合員ら多数を集結させる謀議に参加、三十日の平市署押しかけ協議のさいに朝連事務所前に集結した群衆を指揮しアカハタを振って誘導して市署内に侵入、署に署の内、外でアジ演説などで群衆の斗争意欲を煽動、朴重根（分離組）に指示して警備隊を組織、配置させるなど全般の指導を行った

また日共石城地区委員鈴木光雄（三七）＝首魁＝については

掲示板問題を多数の威力で押しきろうと各分会委員に指示して多数の動員を計画、三十日朝連事務所前に集結した群衆を煽動入党勧告のアジ演説などを行い更に本田署長に対し交渉のさいに暴言を弄し掲示板問題の徹回負傷者の慰謝料を請求、署長が責任をとって辞職すべきだなど多数の威力で脅迫を加えて職務を強要したものである

と断じた、前日から行われた起訴状朗読も平静りに終り前日（八日に弁護人と被告から提出された『統一派を併合して審理されたい』との請求は再び留保となり二時半閉廷、次回は十五日午前十時から起訴状の認否が行われいよいよ事件の核心に入るわけだ

現賃金を横すべり

新賃金決定まで暫定措置

團交で決定

十月以降新賃金をめぐる常炭労と鉱業連盟の第五回団体交渉は九日午後二時から平市石炭会館で開き新賃金が決まるまでの暫定処置については現行賃金を横ずべりさせ決まった上十月一日にさか上って精算すること、職員の賃金についても同じ様に交渉を進めること等を決めた、尚去る七日以来ストを続行している日曹赤井炭鉱に九日総評総主事菊川忠男氏（社[illegible]中央執行委員）が米山スト激励を行った

『少年消防ク』結成へ

小名濱町で準備中

小名浜町では七日から県下一齊に展開される火災予防運動週間に因み郡下のトップを切って『少年消防クラブ』を結成する準備を進めている＝同町消防署並びに町内各小中学校の協力で少年の社会科、理科の勉学に基調をおき、火災予防の普及徹底及び警火思想の向上を図ろうとする目的で各学校又は通学区域ごとに先ず単位クラブを編成、単位クラブを纏めて『消防クラブ』を組織する、火災予防の講話、消防署の機械設備、訓練状況又は火災現場などを視察することが主な事業で実際の火災の消火作業はやらない、クラブ員は十一才から十五才までの希望者、結成は本月下旬ごろの予定である

小名濱の清潔法

來る十五 六日

小名浜町では伝染病発生予防のため秋季清潔法を次の通り実施する同町の一月から八月迄の伝染病発生は腸チフス四、流脳二、赤痢十二、疫痢五の計二十三名でその中赤痢二、疫痢五の七名が死亡している

▼十五日家屋内外の清掃▼十六日下水溝の浚渫

田町に放火事件

五十位の男を捜査中

九日午前零時ごろ平市田町寿司屋赤垣（店主遠藤節氏）脇のごみ箱附近から出火したが発見が早かったため大事に至らず消し止めた、平市署では同刻ゴミ箱の前でマッチをすって傍にあったかんな屑に投げ捨てた五十才前後の男があると云う聞込みから放火と断定犯人を追っている、発見者S氏談『ゴミ箱の前でマッチをすって傍のかんな屑に点火逃走した五十才前後の男を見たが消火しなければと思ってバケツを取りに行く間に見失った』

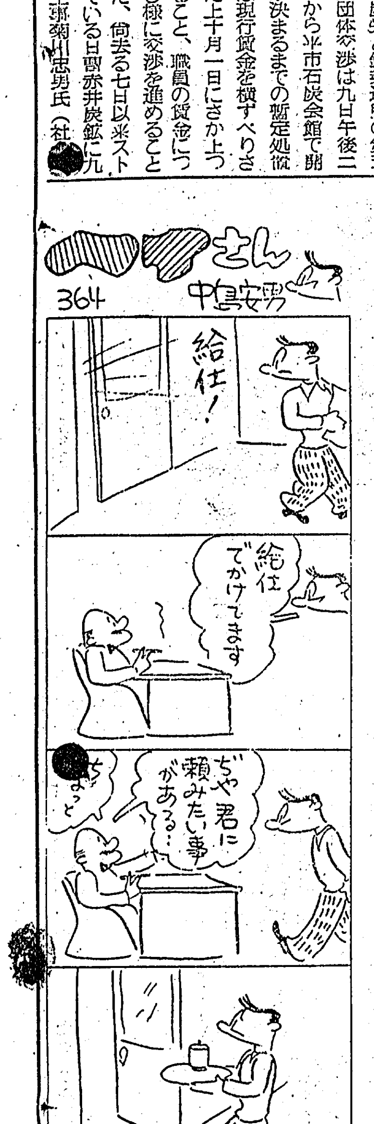
放火未遂で送検

平地区署では八日四倉町新町無職坂本定蔵（三三）を放火未遂の疑いで書類送検した、同人は昨年七月船具商の実父浦治さんに小遣銭を断わられたのに憤慨自宅に放火したが恐ろしくなり中途で消し止めたもの

十一月着工

湯本道路工事

湯本町では全町に亘り道路の破壊が激しいので予算六十万円で来る十一月上旬から全町三十区の道路補修工事を実施する


さん
364
中島安男
給仕！
給仕 でかけてます
ちょっと
ぢゃ君に 頼みたい事 がある…

珠算合格者發表

◇四級 齊藤光男 渡辺貞美 小
野功一 大平イシ子 平山幸雄
渡辺敏子 松本吉止 佐藤晴子
齋藤きん子 片寄萬子 遠藤幸子
箱崎富士 木田定雄 小野寺テイ
子 高羽英子 白川雅子 吉田倣子
若尾正彦 岡部寿尾 大谷とみ子
三戸正明 吉田継男 小川昭 鈴
木忠昭 橘昭尚 越前光枝 川崎
照彦 富岡敏雄 吉川武宏 丸山
令恭 渡辺正隆 植頭貞夫 高岡
弘子 阿部生平 飯島勇一 千葉
豊彦 熊谷重常 石田武彦 長島
司郎 豊田幸三 秋山唯彦 木村
久男 松崎文子 藤原テエ子 遠
藤照男 平山信嘉 会田康男 上
川敏子 澄川岩男 荒川ミツ子
高橋信夫 東条勝良 佐藤ヤス子
小野ミサオ 武藤節子 柿沼俊子
平子ミネ子 吉成トシ子 佐々木
美枝 野崎公子 近納のぶゑ 吉
田トヨ子 佐藤いく子 星名良子
大内博子 宮井千恵子 青木節子
吉野遊子 松崎千江子 柿崎文子
大谷一枝 小室満衛 遠藤三郎
鈴木三枝子 坂本清子 遠藤喜代
子 馬上嘉市 中野央 郷澄子
皆川八重子 邑田浩子 根本タケ
子 伊藤フヂ子 伊藤加代子 阿
部紀久雄 ◇五級上野喜子 高羽
英子 菅波裕子 箱崎富士 吉田
節子 杉田京子 坂本吉正 小針
利雄 吉田守 佐藤清正 織田時
男 早川信也 稲岡勝子 田中初
枝 大谷勝春 根本勝也 伊藤紀
子 小野英子 佐藤康夫 熊谷昭
吉 吉田ツネ子 飯島勇一 根本
久 近納のぶゑ 小林サワ 吉田
トミ子 野木ヨシ子 原部和代
白土喜志子 鈴木邦子 田村幸子
佐々木磐枝 磐前節子 松山文子
小野真以 山岸ミツ子 中野洋子
村井雅子 松下三三子 根本ノブ
子 石井道夫 小林俊夫 田子和
彦 鈴木潔 吉村圭次郎 佐藤実
馬目黍子 岡部寿尾 上野代秀雄
鷲晶子 織内貞子 草野正子 篠
原正二 若松幸子 青木英一 金
成勝雄 松本明子 井沢哲雄 渡
辺清子 遠藤武良 金古生世 上
野台俊子 齋藤キク子 伊藤フヂ
子 千葉初代 本郷美智子 笠川
トミ子 佐川まさ子 小野キミ子
◇六級 武田鉄久 平健二 野矢
道子 西館和子 草野則文 老川
邦郎 若松宏幸 吉田節子 脇坂
幸子 菅波裕子 柳内聖士 小野
寺茂 稲葉美智子 加藤敦子 園
部光子 菊地黍子 小野好子 佐
藤和子 渡辺晶子 助川信子 下
山田利子 佐藤利子 井上幸子
大津みちる 月渡勝子 鈴木カヨ
子 鈴木信子 古田部陸子 伊藤三枝
子 本田昌子 真室弥生 岡本美
子 中村和子 白土喜志子 明智
己久世 早坂マサ子 藤田和子
森下民子 直江照子 新妻弘子
佐川あや子 須釜よしの 馬目登
子 牧野喜代子 雨宮幸子 上野
台俊子 鈴木久[illegible] 小野キミ子
野久子 松本百[illegible]子

内郷厚生委會

内郷町厚生委員会は十一日午前九時から開き町内各保護、児童福祉身体障害者福祉事務に就き協議する

空巣捕る

内郷町宮字滝日雇小松崎政治（三四）は去る六月ごろ赤井村三島鉄道員牛木英夫さん（三七）方に空巣に入り精米一斗五升ズボン、銘仙など衣類七点（一万四千五百円相当）を盗んだ疑いで九日平地区署に捕まった

船大工ら盗む

小名浜町古港一三〇船大工坂下某（二〇）外二名は去る三日正午ごろ同町小名浜造船所で修理中の同町栄町四背山修三さん所有の大昌丸（三ﾄﾝ）からキングストン二箇（六千円相当）を盗んだ疑いで八日小名浜地区署から書類送検

小名で野犬狩り

平保健所では八日小名浜町内の野犬掃蕩を実施、三十二匹を捕縛、平市桜町の野犬抑留所へ送った、同所で五日間飼育しこの期間に所有者の引き取りがない場合は処分することになっている

養鶏養豚を

御厩ボーイスカウト

内郷町御厩ボーイスカウトでは少年の健全な文化向上のため去る四月から新聞発刊を行って来たが、このほど隊を三班に分け養鶏、養豚を行い、現実的な生活指導を実施し二十七年大阪で開催されることになっている全日本大会出場のため万全の準備と育成を図ることになった

橋の荷重制限

植田管内で

植田土木監督所管轄の左記橋梁は早期改修か架替を要するが予算関係で本年度は改修不能なので交通の安全を期すため荷重制限の標識を建設し注意を喚起する事になった制限重量は

山田村井戸沢吊橋（四ﾄﾝ）勿来観音橋（四ﾄﾝ）上遠野村柿の沢橋（三ﾄﾝ）田人村別当不動橋、入遠野村沢山橋同寛沢橋（以上三ﾄﾝ）

湯本土木委の決定事項

湯本町土木委員会は八日午前九時から開き次の事項を協議決定した

▼公営住宅（十坪六棟関船字地内）総工費百二十万円で二十日着工▼湯小講堂（百二十一坪）総工費三百万円で廿日着工▼吹谷（六百五十米）宝海（三百米）上中町（百十米）測溝工事は百万円で十五日着工▼浅貝から常磐中学迄の通学路延長千米改修工事及び全町に亘る道路補修工事は工費[illegible]万円で十五日着工

水産高座談會

小名浜水産高等学校では同校PTAと共催で『水産高校生の在り方について』と題する父兄並びに一般社会人と生徒との合同座談会を六日午前九時半より同校で開いた

JOCP JOHQ ラジオ ローカル 平放送（11日）

後六・三〇 平若松通信第一〇三報 福島民報平支社長菅野芳夫

◈診療科目◈
◇外科◇整形外科◇産婦人科
◇内科◇皮膚泌尿器科
◇レントゲン科
【入院設備あり】
石城郡上遠野村
上遠野村診療所
所長 櫛田敏也 久保田健

店舗設計改造
ウインドケース
陳列器具金具
鏡及広告鏡
専門製作
陳列ケース
●外務員数名募集●
平市長橋町電689
平ウィンドケース
（吉村ガラス商工）

眼科
安田醫院
平市紺屋町電一二三五
（平文化斜向側）

民間放送開始記念
ラジオ
大賣出し
各社有名品多数在庫月賦販売現金一割引スーパー改造修理迅速
三井百貨店
平三 電二八四

小児科
内科
鈴木醫院
平市鍛冶町七
鈴木喜平
電話 四五二番

打綿はハヤクきれいに!!
◎遠近を問わずお電話次第早速集配いたします
㋖スズキ
平市新川町電四二三
工場 平市正月町四二一

落日の決闘
〝彩られし西部の戀!!
〝おとこ〟を貫いた
正義の西部男ヴァージニアンの物語!!
ジョエル・マックリー
ブライアン・ドンレヴィ
バーバラ・ブリトン
【総天然色映画】
11日より
五日間
聚樂館